

研究会「太陽の多角的観測と宇宙天気研究の新展開」プログラム

12月24日(木)

13:00-14:00 【稀覯書観覧】講演会場に集合の後、引率にしたがって資料館へ移動

【1. 乗鞍での観測とその解析、及び国立天文台関係報告】座長：一本

14:00-14:15 乗鞍関連諸報告 末松芳法(国立天文台)

14:15-14:30 赤外コロナ偏光観測2009まとめ 萩野正興(国立天文台)

14:30-14:45 プロミネンスにおけるHe10830 トリプレットについて 鈴木大輔(川口市立科学館)、日江井栄二郎(国立天文台、明星大学)

14:45-15:00 NOAA11027のHe10830A偏光観測による磁場解析 大井瑛仁(茨城大学)

15:00-15:15 乗鞍10cmコロナグラフで得られたコロナ輝度をを用いた子午面方向の流れの解析 比嘉喬人(茨城大学)

15:15-15:30 三鷹装置開発関連諸報告 花岡庸一郎(国立天文台)

15:30-15:45 赤外線カメラXEVA640の性能評価 鈴木勲(国立天文台)

15:45-16:00 太陽フレア望遠鏡ベクトルマグネトグラムの解析について 山本哲也(名古屋大学)

休憩

【2. 最近の太陽研究・装置開発などの成果(1)】座長：上野

16:15-16:30 太陽電波バースト地上観測を目的とした東北大学の電波観測装置 岩井一正、土屋史紀、三澤浩昭、森岡昭(東北大学)

16:30-16:45 太陽フレアにおける非熱的放射べき指数の、時間空間的振る舞いの硬X線と電波での比較 浅井歩(国立天文台)、中島弘(国立天文台)、横山央明(東京大学)、清原淳子(コニカミノルタ)、高崎宏之(アクセンチュア)、成影典之(国立天文台)

16:45-17:00 ひのでXRTの画像の立体構造とフレアとの関連 甲斐沼大輔(茨城大学)

17:00-17:15 時間変化を伴うGバンド輝点の検出と解析 渡辺俊樹(茨城大学)

17:15-17:30 乗鞍観測によるAFSの速度解析と数値モデルとの比較 野澤恵(茨城大学)

17:30-17:45 2009.07.22 硫黄島皆既日食中継 大江将史(国立天文台)、飯塚康至(明星大学)

18:00-20:00 【懇親会】

12月25日(金)

【3. 飛騨天文台など京都の装置関係報告】座長：末松

09:00-09:15 2009年度のドームレス太陽望遠鏡の運用内容と装置開発概要 一本潔他(京大・理・附属天文台)、花岡庸一郎他(国立天文台)、三浦則明他(北見工業大学)

09:15-09:45 2009年度 飛騨・ひので協同観測 HOP0128 概要報告 上野悟、一本潔、金田直樹、大辻賢一、橋本祐樹、阿南徹他(京大・理・附属天文台)、ひのでチームの皆さん
太陽全面H 多波長連続国際観測ネットワーク(CHAINプロジェクト)の進捗報告 上野悟、柴田一成、一本潔、北井礼三郎、永田伸一、木村剛一、仲谷善一、森田諭他(京大・理・附属天文台)

大学間連携事業「超高層大気長期変動の全地球上ネットワーク観測・研究」の紹介と飛騨天文台におけるデータ共有化に向けた取り組み 上野悟(京大理附属天文台)

09:45-10:00 飛騨天文台における補償光学装置の開発2009 三浦則明、横山文人(北見工業大学)

10:00-10:15 ドームレス望遠鏡の可視域における偏光特性 花岡庸一郎(国立天文台)

10:15-10:30 飛騨天文台DST赤外偏光観測キャリブレーション 阿南徹、一本潔、上野悟(京大理附属天文台)、萩野正興、鈴木勲(国立天文台)

10:30-10:45 SMART偏光撮像装置の高精度化 永田伸一(京都大学) 代理

休憩

【4. 京都関連の成果、及び最近の太陽研究・装置開発などの成果(2)】座長：

- 11:00-11:15 飛騨 - ひので共同観測による微小磁束管浮上現象のスペクトル解析 大辻 賢一、北井礼三郎(京都大学)
- 11:15-11:30 飛騨-ひので共同観測(SOT-DST での CaII anemone jets イメージスペクトル同時観測) 森田諭、柴田一成、上野悟、一本潔、北井礼三郎、大辻賢一(京大理附属天文台)
- 11:30-11:45 DST分光観測の成果(スピキュールおよびエラーマンボム) 北井礼三郎、小路真木子、西川宝、橋本祐樹、上野悟、一本潔、柴田一成(京都大学、京都経済短大)
- 11:45-12:00 プロミネンス中の進行する横波の観測 磯部洋明(京大宇宙ユニット)、京都大学飛騨天文台チーム
- 12:00-12:15 Shue model を用いた磁気圏境界と静止人工衛星障害 永野達也(茨城大学)

昼食

【5. レビュー：太陽活動の変動】座長：北井

- 13:15-13:45 太陽ダイナモンの基礎 横山 央明、堀田 英之(東京大学地球惑星)
- 13:45-14:15 ダイナモモデルで予測する次の太陽活動周期 堀田 英之、横山 央明(東京大学地球惑星)
- 14:15-14:45 極小期における太陽活動と次の極大について 亘慎一(情報通信研究機構)

【6. 将来計画関連】座長：花岡

- 14:45-15:00 ATSTなど海外地上望遠鏡の状況 末松芳法(国立天文台)
- 15:00-15:15 Solar-Cなどの現状について 一本潔(京大理附属天文台)
- 15:15-15:45 京都の将来計画について 柴田一成(京大理附属天文台) +議論
・その他、議論 将来計画関連、現有装置の利用方法関連など(TBD)

28号館 2F

